

富 山 国 際 大 学  
アクションプラン 2014-2016

2014年3月

富山国際大学アクションプラン 2014-2016 と主な具体的実施項目

行動指針	アクションプラン	主な具体的実施項目
<p>指針1：学生の成長を保証する教育の実践。</p>	<p>○建学の精神、大学の基本理念を堅持し、人間性・専門性・社会性を向上させる。</p>	<p>(1) 大学の基本理念に沿って、「共存・共生の精神」を磨き、「時代の潮流」に対応できる力を向上させるための教育内容を充実する。</p>
	<p>(2) 卒業までに達成する学修成果として「人間性の向上」「専門性の向上」「社会性の向上」を保証するために、学部の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を定め、その達成を保証する教育を実践する。</p>	<p>○教養科目に「共存・共生へのアプローチ」と「時代の潮流へのアプローチ」科目群を設け、各科目の内容を充実する。</p> <p>○学位授与方針達成へのカリキュラム・マップを作成し、学修成果の達成度を評価する。</p>
	<p>(3) 本学の重視する社会人基礎力として、コミュニケーション力、協働力、課題解決力を伸ばす。</p>	<p>○コミュニケーション力、協働力、課題解決力伸長のためのカリキュラム・マップを作成し、伸長度を評価する。</p>
	<p>(4) 学位授与方針に基づく教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を定め、それに基づくカリキュラムの体系化を図り、教育システムの整備・充実による教育の質保証を行う。</p>	<p>○科目間の関連を表すカリキュラム・ツリー（系統図）を作成し、科目のナンバリングを導入する。</p>
	<p>(5) 学生の計画的学習を促進するため、各授業科目の到達目標や授業計画など明示したシラバスに基づく授業を実施し、到達目標の達成度に応じた成績評価を行う。</p>	<p>○全科目でシラバスの内容充実とシラバスに沿った授業進行を担保する。</p> <p>○成績評価の客観性と厳格性を担保できるようにする。</p>

<p>○学生の主体的学習を増進する授業改革や個別指導・学習支援を行う。</p>	<p>(6) 学生の学習意欲の増進や効果的な学習・理解の促進を図るため、全ての授業科目で対話型授業やグループ学習などの能動的な授業・学習方法（アクティブラーニング等）を採り入れ、授業改革を実行する。</p>	<p>○全ての授業科目で、能動的学習を促進する授業方法を採用</p>
	<p>(7) 実学・実務重視型教育を推進し、実習科目の充実と実施体制の整備を行う。</p>	<p>○現代社会学部の「地域づくり実習」や専攻実習の内容充実 ○子ども育成学部の実習指導センターの整備</p>
	<p>(8) 学生による授業評価や教育支援情報システム等を活用して、学習の進捗度を検証しながら学生自身が成長を実感できる教育改善・充実を行う。</p>	<p>○授業評価の活用促進 ○教育支援情報システムの入力促進と利活用 ○教職課程の「教職カルテ」の利活用</p>
	<p>(9) 一人ひとりの学生の力を伸ばすために、個に応じた教育・指導を強化する。</p>	<p>○担任制度を活用した個別指導の徹底 ○初年次教育の強化 ○外国語、情報、会計関係科目での習熟度別指導の実施</p>
	<p>(10) 授業外を含めた学習時間の増加・確保を図るための学習環境を整備する。</p>	<p>○学習時間の実態把握と確保策の策定・実施 ○ラーニングコモンズ（自主学習空間）等の自主学習環境の整備</p>

<p>指針 2： 国際性に富み、地域発展に貢献できる人材育成と知の創造・活用</p>	<p>○「富山から海外へ」「海外から富山へ」、活発な学生交流や学術交流をはじめ、グローバルな教育・研究を推進する。</p>	<p>(1) 海外留学・海外研修など、日本人学生の海外体験を重点的に進める。</p>	<p>○中・長期海外留学生を毎年度 10 人に（留学奨励金制度を新設）</p> <p>○在学中に全員の海外体験を実施（現代社会学部）</p>
		<p>(2) 英語をはじめ、中国語・韓国語・ロシア語の外国語能力を向上させるとともに、広い国際的視野や異文化理解を涵養する教育を充実する。</p>	<p>○習熟度別クラス編成による英語能力向上</p> <p>○英語検定試験受験促進と高得点者の増加</p> <p>○英語に加えて、中国語・韓国語・ロシア語のいずれかを必修化（現代社会学部）</p>
		<p>(3) 海外提携校を拡大し、学生交流・学術交流などを通じて活発な国際交流を行う。</p>	<p>○海外提携校を 20 校に増加</p> <p>○提携校との学生交流・教員交流の促進</p>
		<p>(4) 外国人留学生を積極的に受入れ、在学中の支援を強化する。</p>	<p>○10月入学の実施による外国人留学生拡大と日本語能力向上支援</p> <p>○大学院進学や日本系企業就職促進</p>
		<p>(5) 東アジア地域の交流拠点として、様々な交流事業を推進する。</p>	<p>○国際交流シンポジウムの開催や学術交流事業の推進</p> <p>○海外インターンシップの促進</p>

<p>○地域との連携・協働を促進し、「地域に役立つ、地域に学ぶ」教育・研究や地域貢献事業を推進する。</p>	<p>(6) 産業県・教育県富山の強みや豊かな自然環境など、富山の豊富な教育資源を活かして、地域（富山）をフィールドとした実習や授業を推進する。</p>	<p>○県内の企業・施設・事業所・団体等との連携による実習・講義等の実施 ○地域課題解決型テーマによる卒業研究の実施</p>
	<p>(7) エクステンションカレッジの公開講座や市民聴講生制度の充実など、県民が本学の教育・研究成果などの知的資源を知り、活用できる取組を進める。</p>	<p>○県民に役立つ、魅力ある講座の実施 ○「地域社会出講プログラム」の充実 ○地域と結んだ遠隔授業・講座の実施</p>
	<p>(8) 県内の自治体や企業・学校・施設・事業所・諸団体との双方向的連携を進める。</p>	<p>○県内自治体等との連携協定の締結・協議の促進、連携事業の促進強化 ○「大学コンソーシアム富山」を通じた県内大学間連携の促進</p>
	<p>(9) 地域課題解決への取組を推進し、地域の活性化や教育・福祉・文化の向上に貢献する教育・研究や事業を推進する。</p>	<p>○学生参加による地域貢献事業の促進 ○地域課題解決への共同研究、事業連携の推進</p>
	<p>(10) 県内高校等と連携した高大連携事業を推進する。</p>	<p>○「高校出講プログラム」推進等による高校生の学習増進への協力 ○円滑な高大教育接続への連携促進</p>
	<p>(11) 大学の地域連携体制を整備し、地域との連携・協働する機能を強化する。</p>	<p>○地域交流センターの組織体制整備と地域連携促進への外部資金獲得</p>

<p>指針3： 活気が溢れ、個性を伸ばせる学生生活への支援やキャリア形成。</p>	<p>○快適なキャンパス環境を整備し、充実した学生生活を支援する。</p>	<p>(1) 図書館利用の促進や図書館内学習環境の整備・充実を行う。</p>	<p>○学生のニーズに対応した図書コーナーの設置</p> <p>○情報化図書館への対応</p>
		<p>(2) 学内情報化を促進し、メディア情報機器を活用した学習・情報提供サービスを充実・整備する。</p>	<p>○学生掲示板の電子化</p> <p>○ICカード付き学生証の導入・利活用</p>
		<p>(3) 充実したキャンパスライフを支援するための設備・環境を整備する。</p>	<p>○各キャンパスの設備・環境整備</p> <p>○東黒キャンパス周辺のイベント開催や里山整備事業の実施</p>
		<p>(4) 学生の自主的活動を奨励・促進し、クラブ・サークル活動の活性化を支援する。</p>	<p>○「夢の架け橋」事業の充実</p> <p>○学生のボランティア活動の促進</p> <p>○学生会活動やクラブ活動の活性化</p>
		<p>(5) 通学の利便性を確保する。</p>	<p>○大型バスの購入と通学シャトルバスの運行（東黒牧キャンパス）</p> <p>○新駅設置に向けた活動強化（呉羽キャンパス）</p>
		<p>(6) 学生への生活指導を徹底・強化する。</p>	<p>○担任制度を活用した生活指導の強化</p> <p>○交通安全運動の強化と交通事故防止</p> <p>○不適応学生へのサポート体制整備</p>
		<p>(7) 各種奨学金制度の整備・充実を行う。</p>	<p>○中・長期留学生への留学奨励金制度（月4万円程度）の新設</p> <p>○特別奨学生制度や諸活動特待性制度の整備</p> <p>○成績優秀者や諸活動優秀者の奨学制度の拡充</p>

<p>○「なりたい自分」になれるよう、キャリア支援・就職支援を行う。</p>	<p>(8)「なりたい自分になれる大学」(本学のキャッチコピー)を目指し、学生が「なりたい自分」を探し、追求し、実現することを支援する。</p>	<p>○「なりたい自分」意識調査の実施 ○「なりたい自分」追求度や進路志望の把握と実現支援</p>
	<p>(9)「社会へつなぐ学び」を通して、学生のキャリアアップを支援する。</p>	<p>○正課内でのキャリア教育充実と正課外でのキャリア支援の充実・強化 ○職業意識や社会的マナーの醸成</p>
	<p>(10) 各種資格獲得のための支援を強化し、取得率を向上させる。</p>	<p>○ビジネス関連の基本検定の全員取得と上級検定の取得支援(現代社会学部) ○小学校教諭、幼稚園教諭、保育士、社会福祉士関連の複数免許・資格の高取得率維持(子ども育成学部)</p>
	<p>(11) 国内・国外でのインターンシップへの参加を促進し、職場体験を通して就業意欲を増進する。</p>	<p>○在学中に全員のインターンシップ等の職場体験への参加 ○海外インターンシップへ毎年3名以上の参加</p>
	<p>(12) 専門職就職対策を強化し、希望者全員の就職を実現する。(子ども育成学部)</p>	<p>○9割以上の専門職就職の実現 ○事業所・施設との就職懇談会の開催</p>
	<p>(13) 公務員就職対策の強化を図り、公務員就職者を増やす。</p>	<p>○公務員志望者の組織化と対策講座等の充実</p>
	<p>(14) 銀行、国際系企業、その他有力企業の就職促進に向けた対策を強化する。</p>	<p>○有力企業志望者の組織化と対策講座の充実</p>
	<p>(15) パソコン必携化を活用した情報スキルの向上とそのための環境整備を行う。</p>	<p>○パソコンの授業内外での活用促進 ○パソコン活用による情報スキル向上</p>

<p>指針4：ブランディングと情報発信の強化と多様な学生受入れの推進。</p>	<p>○大学のブランディングを強化し、積極的な情報発信と広報活動を展開する。</p>	<p>(1) 地域に愛され、必要とされる大学になるよう、地域での存在感を高める活動を強化し、富山国際大学ブランディングを明確にする。</p>	<p>○教育・研究の特色の明確化と教育・就職実績等のアピール活動</p> <p>○国際交流や地域連携活動や富山国際学園の歴史・伝統等のアピール活動</p> <p>○ブランディング戦略の明確化</p>
		<p>(2) 富山国際大学の活動や実績をアピールし、ステークホルダーを意識した広報活動を強化する。</p>	<p>○各種メディアを通じた広報活動強化</p> <p>○大学開放事業の効果的開催</p> <p>○情報誌「TUINS」や「TUINS 情報」の内容充実と活用</p>
		<p>(3) 大学情報の発信機能を強化し、活動の見える化を促進する。</p>	<p>○大学ホームページの内容充実と機動的な更新</p> <p>○マスメディアを通じた情報発信強化</p> <p>○大学情報の公表促進</p>
	<p>○入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）に沿って、幅広く、意欲のある学生の受入れを促進する。</p>	<p>(4) 入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）に沿った多様な入学試験の実施に努め、安定的に学生を確保する。</p>	<p>○安定的な収容定員の確保を目標</p> <p>○基礎的能力と意欲を重視した多様な入試の実施</p>
		<p>(5) 本学教育の特色とともに、「学びやすい富山」「暮らしやすい富山」「将来性のある富山」をアピールし、県内外での幅広い学生募集・広報活動を行う。</p>	<p>○県内外での学生募集・広報活動強化</p> <p>○CiC サテライトオフィスを活用した相談会・セミナーの開催</p>



<p>指針5： 教育 力・研究力の強化 と健全な大学運 営。</p>	<p>○教職員の職能向上を 図り、教育力・研究力 と教学組織の強化を推 進する。</p>	<p>(1) 教職員の研修 (FD・SD 活動) を強化し、 教育力の向上と教職協働による教学組織の活性化 を推進する。</p>	<p>○全員参加型の FD・SD 活動と互見授 業の推進 ○学生の授業評価の活用促進 ○教職協働の強化</p>
		<p>(2) 教員の研究力強化と研究環境の改善を行う。</p>	<p>○科研費や競争的研究資金の応募促進 ○「子ども育成学」の構築と富山国際 大学子ども育成学会の立ち上げ</p>
	<p>○大学マネジメント体 制を強化し、健全で機 能的な大学運営を行 う。</p>	<p>(3) 各部局や教職員個人の活動改善を図るため、 計画 (Plan)・実行 (Do)・評価 (Check)・改善 (Action) の P D C A サイクルを機能させる。</p>	<p>○アクションプラン達成のための年間 毎の PDCA サイクルの実施 ○部局別の年間 PDCA サイクルの実施 ○教職員個人別の年間 PDCA サイクル の実施</p>
		<p>(4) 学長のリーダーシップのもと、大学の教学マ ネジメント体制を強化し、内部質保証による健全で 効果的な大学運営を行う。</p>	<p>○企画本部と学長室の連携による企画 力の強化、IR 活動体制の整備 ○年度毎自己評価の実施と認証評価受 審 (2017 年) への準備</p>
		<p>(5) 外部資金の導入をはじめ、財政基盤を強化す る。</p>	<p>○外部資金や競争的資金の安定的確保 ○教育研究経費の重点的・効果的配分 ○費用対効果を考慮した効率的・効果 的財政運営</p>
		<p>(6) 安全・安心な大学づくりを目指した危機管理 機能の整備を行う。</p>	<p>○福利・厚生施設等の充実 ○防災訓練の定期的実施 ○情報セキュリティー対策の強化 ○危機管理マニュアルの整備と危機管 理体制の確立</p>

		<p>(7) 事務局体制を整備し、事務の効率化を促進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様なニーズに対応できる人材育成</li> <li>○効率的な業務運営と柔軟な組織編成</li> <li>○透明性・公平性の高い人事制度</li> </ul>
		<p>(8) 学園内教育機関の連携・協力体制を強化する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育面での連携・協力の強化</li> <li>○学園内での教職員の兼任・異動の促進</li> </ul>